

教育委員会

教育行財政	X IV - 1
学校教育	X IV - 3
社会教育・文化財	X IV - 10
博物館	X IV - 12
図書館	X IV - 17
市民スポーツ	X IV - 21
人権教育	X IV - 23
教育・視聴覚センター	X IV - 26

教育行財政

● 教育委員会開催状況 (平成26年)

会 議	議 案 件 数
17回	35件

● 審議状況 (平成26年)

	条 例	規 則	規 程	要 綱
制 定	1 件	1 件	— 件	— 件
廃 止	1	1	—	—
改正 (全部)	—	—	—	—
〃 (一部)	1	13	3	—

● 市内の教育機関 (平成26年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	— 校	— 人	— 校	— 人	2校	1,275人	2校	1,275
高校全日制	—	—	9	7,791	4	2,661	13	10,452
定 時 制	—	—	2	742	—	—	2	742
通 信 制	—	—	1	1,139	1	628	2	1,767
中 学 校	22	8,748	—	—	3	664	25	9,412
小 学 校	38	16,843	—	—	1	415	39	17,258

● 市内児童・生徒数の推移 (公立) (平成26年5月1日現在)

年度	小 学 校		中 学 校	
	計		計	
平成15	17,439		8,406	
16	17,562		8,266	
17	18,432		8,470	
18	18,396		8,610	
19	18,363		8,565	
20	18,469		8,613	
21	18,496		8,501	
22	18,136		8,659	
23	17,795		8,811	
24	17,523		8,886	
25	17,299		8,822	
26	16,843		8,748	

● 教育費

(単位：千円)

費目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
教育費 (A)	8,846,326	9,018,606	9,018,606
教育総務費	2,539,574	2,182,164	2,190,517
小学校費	2,523,008	2,558,472	2,558,485
中学校費	1,253,723	1,557,701	1,657,083
幼稚園費	809,068	771,304	804,483
社会教育費	1,147,239	1,278,573	2,092,142
保健体育費	573,714	670,392	669,481
一般会計歳出額 (B)	102,697,438	104,340,174	108,962,376
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	8.7%	8.6%	9.2%

※他部局での執行分を含む。

● 児童・生徒1人当たり教育費 ※いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	98,728	107,784	105,781
中学校	100,294	117,623	92,383

● 学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

年度 事業	平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	校	事業費	校	事業費	校	事業費	
小学校	校舎新增築	1	266,074	—	—	—	—
	大規模改修	1	100,110	3	396,378	3	347,609
	空調施設整備	—	—	—	—	34	112,244
中学校	校舎新增築	—	—	1	262,458	1	520,256
	大規模改修	—	—	—	—	—	—
	空調施設整備	—	—	—	—	18	56,219

● 学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分(備品)	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	20,851	—	14,251	—	14,604	—
	保健	3,064	—	6,418	—	695	—
	給食	4,846	—	11,563	10,679	3,469	—
中学校	理科教育等教材・管理	12,003	—	19,013	—	14,522	—
	保健	1,584	—	3,548	—	700	—
	給食	522	—	522	—	537	—
共同調理場	給食	0	—	0	—	0	—
合計		42,870	—	55,315	10,679	34,527	—

・学校教育

● 第2次四日市市学校教育ビジョン【平成23～27年度】

○ 基本理念 「生きる力」「共に生きる力」をはぐくむ

○ めざす子どもの姿 「輝く よっかいちの子ども」

問題解決能力

将来、社会人として生きるために必要な問題解決能力を身につけた子ども

豊かな人間性

自らを律しつつ、他者とともに協調し、人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を備えた子ども

健康・体力

自他の健康・安全について実践していく力やたくましく生きるための体力を備えた子ども

豊かな人間関係をはぐくむためのコミュニケーション能力

他者の意見を聴き、自分の思いを伝える力を身につけ、互いに尊重し、共に向上する人間関係を築くための資質を備えた子ども

○ めざす子どもの姿を実現していくための3つの視点

1 段差のない教育

2 途切れのない支援

3 家庭・地域との協働

● 平成26・27年度学校教育指導方針

(指導の力点) ○ 生きる力・共に生きる力の育成 ○ 家庭・地域との協働
○ 教職員の資質・能力の向上 ○ 学びの一体化の推進

(具体方針)

確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識・技能の定着 思考力・判断力・表現力等の育成 問題解決能力の向上を図る
学習の推進 学び合いを生かした問題解決的な学習 指導と評価の一体化の充実 外国語活動・英語
教育の推進 ICTを活用した授業の充実

豊かな人間性の育成

道徳教育・生徒指導・人権教育・体験活動の充実 読書活動の推進

健康な心と体の育成

体力向上を図る取組の充実 健康を管理・改善する資質・能力の育成 食育の推進 安全教育の充実

特別支援教育

自立し社会参加するための力の育成

幼稚園教育

生きる力・共に生きる力の基礎の育成

社会の変化に対応し、主体的に生きる力の育成

キャリア教育・多文化共生教育の推進 環境教育・福祉教育・男女共同参画をめざす教育の充実

家庭・地域との協働

対話を大切にした、共に進める子育ての推進

教職員の資質・能力の向上

確かな教師力を高める効果的な研修の実施

● 特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況 (H26. 5. 1 現在)

学級の種類	小 学 校		中 学 校	
	校 数	学級数	校 数	学級数
知的障害	36	40	16	18
自閉症・情緒障害	32	36	16	16
肢体不自由	5	5	2	2
難 聴	1	1	1	1
通級指導教室 (言語)	3	7	0	0
通級指導教室 (情緒等)	3	4	1	1

2. 特別支援学級在籍児童生徒数 (H26. 5. 1 現在)

区 分	知 的 障 害	自 閉 症・情 緒 障 害	肢 体 不 自 由	難 聴	計
小学校	179	162	6	4	351
中学校	73	56	3	1	133
計	252	218	9	5	484

● 保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

・主食は、地場産の特別栽培米の米飯給食を週3回実施している。パンは県内産小麦粉を30%混入して地元業者で焼いたパン給食を週2回実施している。

・副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。

・中学校22校では市教育委員会が栄養バランスのとれた献立作成や食材の選定に十分に関わって、民間給食業者によるデリバリー方式の給食を実施している。

1. 学校給食実施状況

(平成26年度)

区 分		小 学 校	中 学 校 (デリバリー方式)
実 施 校 数		38校	22校
対 象 人 員		16,843人	8,748人
調 理 員 数		※ 240人	—
1食当たり額	パ ン	53円22銭	—
	米 飯	63円09銭	—
	牛 乳	47円30銭	—
	パ ン 副 食	143円92銭	—
	米 飯 副 食	134円05銭	—
1 食 当 た り 経 費		244円44銭	300円
年 間 実 施 予 定 回 数		189回	180回
徴 収 額 (1ヶ月)	高 学 年	4,300円	(一食)
	低 学 年	4,100円	300円

※調理員内訳 正職員39人 再任用職員1人 パート職員86人 民間委託114人

2. 栄養摂取量（小学校）（平成26年度）

エネルギー	638kcal	
たん白質	24.8 g	
脂 肪	20.2 g	
カルシウム	339 mg	
ビタミン	A	209 μgRE
	B ₁	0.34 mg
	B ₂	0.51 mg
	C	28 mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額（金額単位：千円）

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	1,023	8,131	998	9,395	1,036	28,389
中学校	1,284	17,720	1,274	17,176	1,264	16,448
合計	2,307	25,851	2,272	26,571	2,300	44,837

4. 保健担当者一覧（平成26年5月1日現在）

職 名	配 置 状 況	人員数
学 校 医	1校1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	50人
学校歯科医		68人
学校薬剤師	本務小学校20人、中学校11人	36人
保 健 主 事	各小・中学校1人	60人
養 護 教 諭	海蔵小・日永小・常磐小・大矢知興譲小（巡回養護を含み）各2人	64人

5. 年齢別体位と平均値（平成26年度）

区 分		男 子						女 子					
		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市
小	6	116.5	116.2	21.3	21.1	64.8	64.9	115.5	115.9	20.8	20.4	64.4	64.4
	7	122.4	122.2	24.0	23.9	67.6	67.3	121.5	121.4	23.4	23.4	67.2	67.1
	8	128.0	127.6	27.0	26.6	70.2	70.5	127.4	127.2	26.4	26.2	69.9	69.8
	9	133.6	133.4	30.4	30.3	72.6	72.5	133.4	132.7	29.8	29.4	72.6	72.3
	10	138.9	138.7	34.0	33.8	74.9	75.2	140.1	139.8	34.0	33.5	75.8	75.7
	11	145.1	144.9	38.4	38.2	77.6	77.7	146.8	146.6	39.0	38.7	79.3	79.0
中	12	152.5	152.2	44.0	43.4	81.3	81.2	151.8	151.6	43.6	43.2	82.1	82.1
	13	159.7	159.4	48.8	48.4	84.9	85.0	154.8	154.5	47.2	46.6	83.8	84.3
	14	165.1	164.7	53.9	53.1	88.1	87.8	156.4	156.3	50.0	49.4	84.9	85.0

● 奨学金事業

1. 貸与内容 (平成26年度)

名 称	四日市市奨学会
対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子
【貸与額】 大学、短大、専修学校 (専門課程)	23,000円/月 入学支度金 35,000円
【貸与額】 高校、高専、専修学校 (高等課程) 等	12,000円/月 入学支度金 30,000円

2. 貸与状況 (新規貸与者数)

年度	高校生 (専修学校)	大学生 (専修学校)	合計
平成20	9	31(6)	40(6)
21	13	18(2)	31(2)
22	20	32(9)	52(9)
23	10	30(4)	40(4)
24	17	20(2)	37(2)
25	21	16(4)	37(4)
26	20	19(5)	39(5)

() は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

事 項	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
	卒業1年後	10年を限度	年賦	毎年1月末日まで

● 私学助成

(平成26年度)

区 分	教育補助
小・中学校、高等学校等	市内在住児童・生徒1人年額 市内に設置されている学校の場合 3,800円 市外に設置されている学校の場合 3,000円

● 就学援助

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

平成26年度実績

(単位：円)

区 分	金 額
小 学 校	109,986,317
中 学 校	71,822,994
計	181,809,311

● 市立小・中学校一覧

1. 小学校

(平成26年5月1日現在)

校名	所在地	創立 年月日	教職員数	児童数	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5. 3. 15	人 30	人 360	普通 13	特支 3	17	6
浜田	北浜田町 13-6	明 8. 9. 20	27	514	17	2	20	7
橋北	川原町 25-22	平 25. 4. 1	16	202	8	1	12	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8. 7. 1	42	802	26	2	30	7
塩浜	塩浜町 1	明 8. 11. 2	15	187	6	1	16	6
富田	富田一丁目 24-49	明 20. 7. 1	37	731	22	5	28	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9. 9. 30	25	466	15	2	23	8
羽津	大宮町 16-35	明 7. 5. 10	27	534	18	2	22	7
常磐	城西町 9-14	明 8. 12. 5	44	773	24	3	33	7
日永	日永四丁目 5-13	明 8. 11. 10	35	673	20	2	25	6
四郷	西日野 3207-1	明 9. 2. 4	22	418	14	2	17	6
内部	采女町 888-1	明 7. 2. 3	29	552	19	1	26	7
小山田	山田町 1373-1	明 8. 12. 1	14	183	6	1	11	6
河原田	河原田町 70	明 8. 11. 9	15	224	8	1	12	6
川島	川島町 2046	明 8. 11. 28	41	830	25	4	27	6
神前	曾井町 493-1	明 8. 2. 4	19	245	10	2	16	6
桜	桜町 1257	明 8. 7. 1	28	410	13	2	20	7
県	赤水町 1002	明 7. 5. 4	21	375	12	2	22	6
三重	東坂部町 222-2	明 8. 11. 1	24	463	15	2	18	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7. 3. 16	42	761	23	3	30	7
八郷	平津町 99-1	明 25. 6. 1	27	446	15	2	24	6
下野	朝明町 475-1	明 9. 3. 1	22	399	13	2	20	7
保々	西村町 2741	明 7. 4. 25	27	435	15	2	19	7
水沢	水沢町 2491	明 8. 12. 4	13	190	6	1	11	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38. 5. 7	20	252	11	2	13	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46. 4. 1	30	526	17	3	23	6
笹川東	笹川六丁目 25	昭 48. 4. 1	20	229	9	2	20	6
常磐西	大字松本 764	昭 48. 4. 1	41	805	25	3	28	6
笹川西	笹川五丁目 62	昭 50. 4. 1	21	238	9	3	23	7
三重西	三重三丁目 129	昭 50. 4. 1	21	383	12	2	24	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50. 4. 1	30	534	18	2	22	7
桜台	桜台一丁目 32	昭 52. 4. 1	20	293	11	3	18	7
三重北	山之一色町 90	昭 53. 4. 1	22	306	12	2	15	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53. 4. 1	14	198	7	1	10	6
羽津北	大字羽津 500	昭 57. 4. 1	26	510	16	2	19	6
内部東	采女町 423-4	昭 59. 4. 1	29	559	18	2	26	5

中央 楠	元新町 2-36	平 7. 4. 1	15	187	7	1	15	8
	楠町北五味塚 2060-9	明 8. 11. 20		650	21	4	26	8
合 計 [38校]			985	16843	556	82	781	248

2. 中学校

(平成26年5月1日現在)

校 名	所 在 地	創立年月日	教職員数	生徒数	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22. 4. 15	人 33	人 341	普通 10	特支 3	15	8
橋北	高浜町 1-4	昭 22. 4. 15	14	120	4	0	9	8
港	十七軒町 10-41	昭 22. 4. 15	19	244	8	0	11	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22. 4. 15	20	143	6	2	11	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22. 4. 15	43	684	21	2	21	9
富田	東茂福町 4-19	昭 22. 4. 15	22	311	10	1	14	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22. 4. 15	24	312	10	2	15	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22. 4. 15	30	417	12	3	16	9
南	前田町 18-17	昭 22. 4. 15	42	613	18	2	25	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22. 4. 1	32	490	15	2	17	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22. 4. 1	34	557	16	2	21	10
朝明	平津町 409-2	昭 22. 4. 1	44	689	21	2	22	9
保々	西村町 2787-2	昭 22. 4. 15	22	247	9	1	10	8
常磐	大字松本 810	昭 48. 4. 1	40	616	18	2	21	11
西陵	西山町 7229	昭 51. 4. 1	16	219	7	1	11	8
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51. 4. 1	22	233	8	2	20	10
三重平	三重八丁目 1	昭 52. 4. 1	24	307	10	2	14	9
羽津	大字羽津甲 26	昭 54. 4. 1	29	477	14	2	16	8
西朝明	北山町 1169	昭 54. 4. 1	24	350	11	1	16	8
桜	桜町 1064	昭 57. 4. 1	29	438	13	2	20	10
内部	波木町 697	昭 60. 4. 1	38	626	19	2	18	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22. 4. 15	23	314	10	1	16	10
合 計 [22校]			624	8748	270	37	359	198

※ 「普通」は加配学級・独自学級を含めた実学級数

※ 「特支」は特別支援学級数を示した外数

※ 「教職員数」は市費・県費常勤の職員から代替教員を除いた数

● 私立小・中学校一覧（市内）

1. 私立小・中学校

（平成26年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創立年	教員数	児童・生徒	学級数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	32人	415人	18
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	37	445	14
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	15	149	7
メリノール女子学院中学校	平尾町2800	昭39	36	70	3
合 計 [4校]			120	1,079	42

※教員数には兼務者を含む

・社会教育・文化財

● 社会教育

＜平成26年度主要事業＞

(1) 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

(2) 学校施設（教室）開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、39小学校3中学校で学校施設（教室）開放を行った。

(3) 子どもの読書活動推進

「四日市市子どもの読書活動推進計画」に基づいて、計画推進のため、学校・学識経験者等による推進会議や、関係各課による庁内推進会議等を開催し、平成26年8月に推進計画の改訂を行った。

● 文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保護・活用は、市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせるまちづくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保護するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努めた。

＜平成26年度主要事業＞

1 文化財の指定

- ・「中山寺のモッコク」（市指定天然記念物 平成26年8月5日指定）

2 文化財の調査・整備・維持管理

・指定文化財の整備

市指定有形文化財（建造物）「観音寺山門」の復元修理、市指定無形民俗文化財「御館獅子舞」で使用される衣装の復元新調、市指定無形民俗文化財「南楠鯨船行事」の道具等の修理、市指定有形文化財（彫刻）「釈迦如来坐像」（暁覚寺）を安置する収蔵庫の修理

・文化財説明板の整備

〈新設〉・県指定史跡「日永一里塚跡」

〈修理〉・市指定史跡「大膳寺跡」

・市指定無形民俗文化財「つんつく踊」、「椿岸神社獅子舞」、「立阪神社獅子舞」

・文化財案内板の整備

〈新設〉・国指定天然記念物「東阿倉川イヌナシ自生地」

・県指定天然記念物「川島町のシデコブシ群落」

〈移設〉・国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」東部指定地

・久留倍遺跡保存活用事業

久留倍官衙遺跡整備検討委員会の開催、ガイダンス施設の建設、史跡地の排水溝設置等整備、復元建物の実施設計、草刈等の維持管理

・天然記念物保存事業

御池沼沢植物群落の環境整備（樹木及び竹の伐採、伐根）

- ・旧四郷出張所維持管理事業
建物管理、敷地草刈、法面改良工事地質調査及び設計、外壁塗替え等改修工事
- ・文化財指定地等の除草・清掃
御池沼沢植物群落・東阿倉川イヌナシ自生地・西阿倉川アイナシ自生地・桜町シデコブシ群落・広古墳A群・大膳寺跡・旧四日市市役所四郷出張所（四郷村役場）・天武天皇迹太川御遥拜所跡・茂福城跡・冠山茶の木原・保々の中世旧跡・永井遺跡公園・貝野遺跡公園
- ・文化財パトロール
埋蔵文化財や天然記念物等の現状及び環境保全の状況把握を行う調査(埋蔵文化財担当調査員6人・天然記念物担当調査員1人)

3 文化財保護の普及・啓発

- ・第61回文化財防火デー（文化財収蔵施設の防火査察と消防訓練 1/19～26）
- ・「第17回発掘展～子どものための考古学～」（四日市市文化会館 H26/8/9～9/15）
- ・久留倍官衙遺跡出土品展（あさけプラザ 10/1～11/30）
- ・「四日市市埋蔵文化財コレクション」市内の遺跡から出土した遺物の展示（市役所1階ロビー 通年）
- ・御池沼沢植物群落のパネル展示（市役所1階ロビー 通年）
- ・『四日市市遺跡マップ』（改訂版）作成
- ・『久留倍官衙遺跡整備ニュース vol.2』、『同 vol.3』作成
- ・『御池沼沢ハンドブック No.4』、『同 No.5』作成
- ・『鳥出神社の鯨船行事 復元新調事業総括報告書』作成
- ・文化財整理作業所、久留倍官衙遺跡、旧四日市市役所四郷出張所の見学
- ・出前講座等13回実施

4 埋蔵文化財の発掘調査等

開発計画地内に所在する遺跡で、現状保存が困難なものについて発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、文化財整理作業所において出土遺物の整理・復元作業や報告書作成、保管等を行っている。

- ・発掘調査…永井遺跡（污水管渠敷設）
- ・試掘調査…小生遺跡、貝野遺跡、斑鳩A遺跡、下之宮遺跡、大矢知山畑遺跡、又六古墳群、西沖遺跡
- ・工事立会…上ヶ谷遺跡、茶臼山古墳群、宮ノ下遺跡、貝野遺跡、下之宮遺跡、七曲遺跡等32遺跡
- ・報告書作成…『川原宮遺跡』

・博 物 館

博物館は、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。

その後、20年が経過し、プラネタリウム投映機器や常設展示の経年劣化が進む中、「四日市公害と環境未来館」の博物館内への併設が決まり、プラネタリウム及び常設展示のリニューアルと一体的な整備を進め、新たな魅力を備えた施設として、平成27年3月21日にリニューアルオープンした。常設展示は、古代から近世までの各時代の特徴を象徴する建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場とした。プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境について投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場として特色あるプラネタリウムとした。

● 施設概要（平成27年3月21日リニューアルオープン後）

所在地	四日市市安島一丁目3番16号		
敷地面積	1,845.84㎡		
建築面積	1,590.40㎡		
延床面積	10,147.11㎡		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建		
	6階	373.48㎡	プラネタリウム
	5階	1,340.81㎡	プラネタリウム、コスミックギャラリー、コスミックラウンジ
	4階	1,343.05㎡	特別展示室
	3階	1,251.01㎡	博物館常設展示室、丹羽文雄記念室
	2階	1,321.33㎡	四日市公害と環境未来館常設展示室
	1階	1,466.32㎡	エントランスホール、講座室、ショップ、図書スペース、 研修・実習室
	地下1階	1,536.71㎡	収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
	地下2階	1,514.40㎡	収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合 計	備 考
22年度	299日	24,479人	27,903人	45,406人	97,788人	特別展3回・企画展2回
23年度	300日	23,859人	22,152人	45,215人	91,226人	特別展2回・企画展2回
24年度	300日	24,522人	32,723人	45,293人	102,538人	特別展3回・企画展2回
25年度	298日	24,579人	20,641人	40,876人	86,096人	特別展3回・企画展1回
26年度	45日	7,355人	4,533人	7,649人	19,537人	特別展1回・企画展0回

※26年度はリニューアル工事期間のため休館期間有

● 博物館事業

1 常設展

①平成26年5月11日まで

基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代に至る“四日市のあゆみ”をその時代ごとの特色を生かし、六つのテーマに分けて展示している。

- 〈 テーマ 1 北勢地域のおいたちと自然環境 〉「自然のすがた」、「大地のおいたち」、「化石は語る」など、現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ち、自然環境の様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 2 原始・古代の人びとの生活 〉「石器を使った人びと」、「土器を使った人びと」、「米づくりと青銅器の製作」、「大和朝廷と北勢地域」、「古墳の築造と渡来人の活躍」、「律令国家への道」など、旧石器時代から平安時代までの人びとの生活の様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 3 “四日市”と“四日市庭浦”の成立 〉「中世の武士と商人」、「伊勢湾諸湊と四日市庭浦の成立」、「くらしと生活用具」、「いのりと信仰の世界」など、田原美作守忠秀が浜田に築城して街道を城の東に移し、定期的に市が開かれて“四日市”の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも“四日市庭浦”が重要な役割を果たしたことなど、鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 4 東海道と伊勢参宮道の賑わい 〉「近世への胎動」、「宿場と東海道」、「四日市湊と町の展開」など、四日市が東海道五十三次の43番目の宿駅として、また、日永にあっては、伊勢参宮道との分岐点として次第に交通の要衝の地として発展してきた江戸時代の様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 5 四日市港と近代産業の発展 〉「みなとの整備」、「近代のくらしと社会」、「地場産業と近代産業」など、四日市港の改修と、製糸、萬古焼、製茶、製網、製油などの地場産業に焦点を当てるとともに、市制を施行し、次第に市域を拡大していく幕末・明治から昭和初期までの近代の様子を取り上げている。
- 〈 テーマ 6 戦災からの復興と都市の創造 〉「戦中から戦後のあゆみ」、「港湾・産業都市としての再生」など、甚大な被害をもたらした四日市空襲からの復興と、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

②平成27年3月21日リニューアルオープン以降

新しい常設展は「時空街道」として、基本テーマを「四日市のまちの発展の歴史と、そこにくらしただ人々の生活の変化」とし、各時代を特徴づける建物を原寸大で再現した体感型の展示に変わった。

〈 時空街道の旅 〉

博物館で扱う原始・古代から近世までの流れを映像で絵巻物のように見せる。

〈 久留倍の村 〉

久留倍遺跡で出土した弥生時代後期の竪穴住居を再現。この村が道に接していたことから奈良時代の朝明郡衙となることを紹介。

〈 四日の市 〉

四日市のまちの発祥となった室町時代の市を再現。店舗の形態や、取引される品物などを紹介。

〈 四日市宿 〉

江戸時代の東海道の宿場町を再現。問屋場、旅籠の他に、間の宿にみられる茶店などを再現。

〈 四日市湊 〉

2階の四日市公害と環境未来館につなぐ展示として、湊で賑わった江戸時代と、明治初年の衰退期、港の修築によって近代港湾となった四日市港のその後の発展を紹介。

〈 丹羽文雄記念室 〉 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

〈特別展等 平成26年度開催〉

○特別展 チェブラーシカとロシア・アニメーションの作家たち

〈学習支援展示 平成26年度開催〉

○大昔の四日市 一弥生時代と古墳時代一

3 教育普及事業

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館学課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。さらに、リニューアル後の常設展の案内をする博物館ボランティア、丹羽文雄記念室の語り部ボランティアの活動により観覧者の展示理解を深めている。また、館蔵資料の解説を行う古文書ボランティアの活動も継続して行っている。

4 資料の収集保存事業

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。なお、収集資料の専門事項について、審議または指導・助言をいただくため「資料委員会」を設置している。

5 調査研究事業

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等の調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

● プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらおう。

1 プラネタリウム投映事業

①平成26年5月11日まで

四季の星空と宇宙のテーマを合わせた季節番組（テーマ番組、キャラクター番組、星空番組）により、星座や宇宙・天文の世界を提供している。また、保育園、幼稚園、小学校の年齢・学年等に応じた学習

投映も行っている。なお、どなたにもプラネタリウム投映を楽しんでいただくため、解説に字幕をつけた投映や赤外線補聴装置の貸出しを行っている。

《平成26年度季節番組》

〈テーマ番組〉

- ・ワイルデスト・ウェザー ～太陽系 驚異の気象～

〈キャラクター番組〉

- ・名探偵コナン 星影の魔術師

〈星空番組〉

- ・星空キャスターにおまかせ

②平成27年3月21日リニューアルオープン以降

プラネタリウムでは、5階フロアを宇宙の港（GINGA PORT 401）と位置づけ、宇宙から見た星空や宇宙から見た地球という新たなコンセプトをもとに、約1億4000万個の星を映し出すことができる世界最先端の技術を盛り込んだプラネタリウム機器を導入し、観覧者をはるか宇宙の旅へと誘う。

四季の星空と宇宙をテーマとした季節番組（一般番組、ファミリー番組、星空番組）を投映し、宇宙や地球環境、最新の機器の特性を生かした満天の星空の世界を提供している。また、磁気ループ受信機の貸出し、車いす用リフトや遮音室を設置し、どなたにもプラネタリウムを楽しんでもらえるように環境を整えている。

《平成26年度季節番組》

〈一般番組〉（オープニング番組）

- ・アース・メッセージかけがえのない惑星（ほし）へー

〈ファミリー番組〉

- ・ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検2～太陽系のひみつ～

〈星空番組〉

- ・スペース・ミュージアムー春ー～宇宙の宝石コレクション～

2 天文教育普及活動事業

天文教育研修、子ども科学教室、公開観望会など幅広く天文教育普及活動を行う。また、三泗地区内にある中学校や小学校と連携した出前授業（移動式プラネタリウム）も行っている。なおリニューアル後は、小学校と連携した立体映像システムを活用した出前授業を廃止し、新たに小学校6年生を対象にプラネタリウム番組を学習として観覧できるように学習参加券を配布する。なお、中学校についても同様に全学年で学習参加券を配付する。

3 天文展示コーナー（コズミックギャラリー）

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」とし、古代から現代にいたる宇宙観の歴史をわかりやすくパネルで展示している。また、天体写真や実物の隕石を展示し、宇宙の神秘にふれるコーナーを設けている。さらに宇宙について学ぶことができるように、天文関連のDVD 上映や書籍の閲覧コーナーを設けているほか、季節の星座やプラネタリウム番組に合わせた展示も行っている。

なお、この天文展示コーナーは、平成26年5月11日をもって終了した。

リニューアル後は、天文展示コーナーをコズミックギャラリーと位置づけ、JAXA と連携した展示や宇宙から見た地球環境の展示、また、デジタルシミュレーションをタッチパネルなどで操作できるモニターの設置、太陽系から銀河系までの天体情報を未来像も含めて展示し、宇宙へ旅立つ前の高揚感を高める場とした。

4 移動天文車「きらら号」

口径20cmの高性能天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き、観望会を実施している。観望会には天文ボランティア（登録35人）が参加協力する。また、天文現象（見頃の惑星など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘的な宇宙の姿を紹介している。リニューアル後は、新たに太陽を直接見られるシステムを導入し、観望会の充実を図っている。

● 博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。平成26年度は定例会を2回開催した。〔委員数14人〕

四日市市楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政12年（1829年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年（1760年）の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると250年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成17年4月に米蔵の跡地に展示棟を併設し、資料館として開館している。

●施設概要

所在地	四日市市楠町本郷 1068 番地		
敷地面積	1,229.23 m ² （資料館 932.23 m ² 、駐車場 297 m ² ）		
建築面積	338.09 m ²	延床面積	448.24 m ²
構造	主屋・立会所	木造瓦葺平屋	209.75 m ² （四日市市指定有形文化財）
	蔵	木造瓦葺平屋	39.08 m ² （四日市市指定有形文化財）
	水屋	木造瓦葺平屋	2.76 m ²
	展示棟	木造瓦葺2階建	196.65 m ²

●施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋

展示棟：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

●来館者数

平成22年度：6,829人 平成23年度：7,321人 平成24年度：8,258人 平成25年度：8,927人
平成26年度：10,157人

●事業概要

夜間特別開館（夏・秋）、小中学生写生大会、企画展示（文化サークル作品展等）、ミニ門松づくり、ひなまつりコンサート、吊るし飾り展、語り部事業 など

・ 図 書 館

● 施設概要

・所在地	四日市市久保田一丁目2番42号
・敷地	4,738.01㎡
・構造	鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
・開館	昭和48年7月10日
・建物面積	延4,147.42㎡

(平成27年3月末現在)

1階	一般成人室	新聞雑誌コーナー20席・参考図書コーナー10席 ・軽読書コーナー他28席
	児童室	82席
	点字・録音資料室	
2階	一般閲覧コーナー	44席
	地域資料室	12席
	郷土作家コーナー	4席
	インターネットコーナー	3席
	展示コーナー	9席
	視聴覚ホール	100席
3階	学習室	154席
	一般研究室	42席
	スナックコーナー	53席 (図書館用図書リサイクルコーナー・飲食コーナー含む)
	会議室	24席
	研修室	12席

● 業務内容

開館時間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休館日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間(6月中の約10日間)、年末年始
館外貸出	本市及び三重郡三町の在住、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町の在住者を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自動車文庫	市内に91カ所の駐車場を設け、2台の自動車文庫で月1回(8月を除く)巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資料複写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写(複写料 白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料(一部を除く)に限る。
資料相談	電話、文書、来館のいずれも可

● 平成26年度事業報告

市民の多様な知的欲求に応じて、その満足度の向上に資するため、図書・資料の収集整備と読書推進に努め、「市民の図書館」づくりに努めた。

- ① 市民の多様な学習要望に応えられるよう、適切な蔵書の整備を図り、19,708冊の図書を受け入れた。
- ② 人権・同和関係資料の収集・提供に努めた。
- ③ 点字・録音図書の充実を図るとともに、点訳及び録音基礎講座を開催し、図書館サービスの啓発に努めた。また、活字での読書が困難な方に対しては、対面朗読ができる環境を整え、小さな文字が見えにくい方に対しては、拡大読書器や大活字本を整備している。
- ④ ボランティアや職員による読み聞かせや、各種講座を充実させることにより、図書館利用者の拡大を図った。また、テーマに沿って資料を展示する企画展示や、博物館など公共施設の事業と連携した関連図書の紹介をするなど、蔵書の広報に努め、市民が読書に親しめるよう工夫した。
- ⑤ なのはな文庫（学校貸出専用図書）の貸し出し、調べ学習への対応、学校図書館いきいき推進検討委員会への参加など、学校図書館と連携を図った。また、指導課から担当1名が派遣され、なのはな文庫や大型絵本の活用などについて、学校・幼稚園と連携強化を図った。

● 月別事業実施表

月	事業名
4	出前講座(3日)／「子ども読書の日」読み聞かせ(19日・20日)／The・男の読み聞かせ(20日)
5	四日市子どもまつり(四日市ドーム)自動車文庫参加(18日)
6	特別整理期間(3日～12日)
7	夏休み絵本の読み聞かせ(19日)／夏休みおはなしびっくりBox(23日)／手づくり絵本講座(24・25日・31日)
8	子ども点字教室(8日)／おいしいお茶の入れ方講座(9日)／夏休みおはなし会(20日)／夕すずみおはなし会(22日・28日)
9	「読書に関するエッセー」作品募集(1日～10月31日)／大人のためのストーリーテリング(7日)
10	出前講座(14日)／手づくり絵本講座作品展示(22日～11月2日)・発表会(26日)
11	おしゃべりえほんの会(6日)／点訳基礎講座・音訳基礎講座(8・15・22日)／秋の絵本の読み聞かせ(15日)／伊藤桂一ビデオ上映会／地域学習講座「丹羽文雄を読む」第1回(23日)／読みきかせ はじめのいっぽ(29日)
12	「読書に関するエッセー」入賞者表彰式(14日)／出前講座(19日)／パパ'S絵本ライブ!!inよっかいち(21日)／クリスマスおはなしびっくりBox(24日)／冬のおはなしぎんのかい(25日)／冬のおはなし会(27日)
1	四日市かるたで遊ぼう(7日)／地域学習講座「丹羽文雄を読む」第2回(11日)／大人のためのストーリーテリング(18日)／子ども読書ボランティア交流会(22日)
2	冬の絵本ライブラリー拡大版(14日)／地域学習講座「丹羽文雄を読む」第3回(15日)
3	おしゃべりえほんの会(5日)／春休みおはなし会(27日)／地域学習講座「丹羽文雄を読む」第4回(22日)

● 過去3年間の利用状況

		24年度	25年度	26年度
開館日数		274	(※4)259	274
入館者数	年間総数	286,016	265,668	285,866
	1日平均	1,044	1,026	1,043
登録者数	総登録者数	60,669	59,364	58,326
	個人登録者(※1)	60,136	58,841	57,799
	(うち15歳以下)	(11,527)	(11,124)	(10,872)
	団体登録者	314	304	312
	点字・録音(個人/団体)	67/152	58/161	58/157
	個人登録率(%) (※2)	19.2	18.9	18.9
貸出冊数	貸出冊総数	906,527	855,144	887,793
	本館(※3)	842,660	791,588	823,290
	(うち雑誌)	(27,380)	(24,763)	(25,609)
	自動車文庫	62,906	62,917	63,444
	(うち雑誌)	(955)	(1,042)	(1,097)
	点字録音資料室	961	639	1,059
	録音	901	601	1,005
	点字	60	38	54
	市民1人当り貸出数	2.9	2.7	2.8
調査相談 件数	総数	4,481	5,431	5,882
	口頭	4,417	5,358	5,811
	電話	60	71	71
	文書・メール	4	2	0
予約 リクエスト	総数	47,019	44,192	50,235
	本館(窓口)	19,487	17,303	15,895
	本館(インターネット)	21,127	20,552	28,024
	自動車文庫	6,405	6,337	6,316
複写	件数	3,689	3,432	2,853
	枚数	23,033	20,894	16,396
人口(各年度の3月31日現在)		312,856	312,359	312,106

※1 個人登録者は、5年以上未利用者数を除く

※2 個人登録率=(個人登録者+点字・録音個人)÷人口

※3 本館は、個人・団体・なのはな文庫等を含む

※4 改修工事による臨時休館(平成25年10月13日～10月31日)

● 蔵書統計（平成 27 年 3 月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	11,226	7,404	3,822	281,964
本館児童	3,339	2,203	1,136	83,496
本館外国語(成人・児童)	59	17	42	3,667
本館雑誌(成人・児童)	2,472	1,968	504	21,936
点字・録音資料	65	0	65	4,087
自動車文庫	2,447	898	1,549	36,297
自動車文庫雑誌	100	158	-58	419
総計	19,708	12,648	7,060	431,866

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料	184	176	8	9,427

● 図書購入費（当初予算）の推移

(千円)

年度	25年度	26年度	27年度
総 額	154,295	122,004	118,496
図書費	25,403	25,578	25,578
その他資料費	3,350	3,350	3,350

・市民スポーツ

〈スポーツの振興〉

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、施設の充実や各種の事業の推進を図るとともに、自立した地域スポーツを組織化するため、総合型地域スポーツクラブの充実を目指す。

- 各種大会(26年度)
 - スポーツ推進委員関係行事 …………… 四日市市民スポーツフェスタ他 4大会
 - レクリエーション協会関係行事 …………… レクリエーション大会他 7大会
 - スポーツ少年団関係行事 …………… スポーツ少年団大会他 7大会
 - 体育協会関係行事 …………… 総合駅伝大会他 12大会

- 各種講習会(26年度)
 - 3講習会 …………… 375名参加

- 各種スポーツ教室(26年度)
 - 53教室 …………… 3,917名参加

- 学校体育施設開放(26年度)
 - 40小学校・22中学校…………… 体育館・グラウンド・武道場・プール・テニスコート
(旧東橋北・三浜小学校跡地を含む)

- 総合型地域スポーツクラブ(26年度)
 - 6ヶ所…………… 四日市ウェルネス倶楽部、保々ふれあいスポーツクラブ、楠スポーツクラブ、スポーツクラブさんさん(三重)、橋北地区総合型地域スポーツ・文化クラブ ビバ橋北、内部地区総合型地域スポーツ うつべ☆スター

〈体育施設の状況〉

- 利用状況の推移 (人)

平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
997, 233	852, 481	962, 758	980, 169	993, 673

注 スポーツ以外の利用含む

- 指定管理者の導入状況

1) 四日市市運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 名称：四日市市体育協会グループ	中央緑地体育館など29施設

2) 四日市ドーム指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成 22 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 名称：トーエネックグループ	四日市ドーム

● 体育施設の設置状況 (平成27年3月末日現在)

施設区分	設置ヶ所数	面数等	設備の特徴など
全天候型多目的施設	1	1	ドーム型 (9,707㎡) ・人工芝
体 育 館	3	4	トレーニング室併設 (1ヶ所)、武道場併設 (1ヶ所)
陸 上 競 技 場	1	1	第2種公認・全天候型トラック400m、照明設備 (8ヶ所)
プ ー ル	2	5	流水プール (1ヶ所)、温水プール (1ヶ所)
野 球 場	5	6	照明設備 (2ヶ所)
ソフトボール場	2	3	
サッカー・ラグビー場	3	4	照明設備 (1ヶ所)、グリーンサンド (2ヶ所)
テニスコート	4	26	照明設備 (2ヶ所)、人工芝 (20面)
運動用舟艇場	1	1	30艇係留
弓 道 場	1	1	5人立ち
武 道 場	1	4	柔道・剣道場
相 撲 場	1	1	屋形付土俵
多目的運動広場	2	2	照明設備 (1ヶ所)
グランドゴルフ場	1	1	河川敷
地区運動広場	14	—	地区による管理 (ソフトボール場・テニスコートなど)

・人権教育

本市が進める人権教育は、これまでの同和教育の実践が積み上げてきた理念や成果を踏まえ、世界の人権教育に学びつつ、自分自身、家庭、職場、地域と具体的に結びついたものを取り上げ、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解消を目指し、人権が普遍的に存在しうる社会の構築を図ることです。そのためには、主体的に人権教育を推進する人づくりと多様な学習の場の提供などを推し進めます。

● 学校人権教育（指導方針）

人権を尊重し、人権問題を解決する行動力の育成

子どもたちがさまざまな人権問題を自らの問題として自覚し、生活の中にある課題の解決を図っていくために、教職員は学校・園のあり方を人権尊重の視点で常に見直していく必要がある。さらに、この視点から教育目標や年間指導計画の策定に努め、自他の人権の尊重と擁護、人権問題の解決に向けた行動力の育成につながる人権教育を推進していくことが求められる。

- ① 「四日市市人権教育・啓発基本方針」「四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努める。
- ② 校内の人権教育を一層推進するため、教職員の研修機会の充実に努めるとともに、中心となりうる教職員および子どものリーダーを育成する。
- ③ 中学校区単位で授業交流、情報交換会、子ども人権フォーラム等を実施し、校園や地域関係組織との連携を一層深める。
- ④ 人権センター・人権プラザと連携し、部落問題や外国人・障害者・女性・子どもなど個別の人権問題の解決に向けた四日市市全域を含むネットワークを構築することで、差別をなくし、子ども・保護者が安心できる教育環境づくりを推進する。
- ⑤ いじめや差別のない学校づくりに向けて、保護者・教職員を対象に一人ひとりの人権意識を高める研修を継続する。

□ 幼児・児童・生徒の人権活動

- ・ 人権啓発ポスターの募集（対象：保育園・幼稚園児、小学生、中学生、高校生／募集締切：9月17日）
- ・ 人権作文の募集（対象：小学生、中学生／募集締切：1月14日）
- ・ 市中学校ブロック子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／開催日：各ブロック随時）
- ・ 人権のひろば展（開催日：12月7日、12月15日～1月15日／展示内容：人権ポスター）

□ 教職員資質向上・人材育成

- ・ 人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員／5月16日）
- ・ 人権教育実践研修会（対象：幼稚園教職員／7月25日 小・中学校中堅教職員／8月7日）
- ・ 人権教育教頭研修会（対象：小・中学校教頭／8月19日）
- ・ 人権教育初任者研修会（対象：新規採用教職員全員／8月21日）
- ・ 人権教育転入者研修会（対象：市外からの小・中転入教職員等／8月21日）
- ・ 人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校対象教職員31名及び希望者9名／研修日3回）
- ・ 人権教育リーダーフォローアップ研修会（対象：前年度のリーダー育成研修会参加者及び人材バンク登録者／12月24日）

□ 指導用図書及び資料の配付

- ・ 学校人権教育のてびき（第56集）

『学校における人権学習プログラム』 一人権教育推進校の実践から一

□県・市人権教育推進事業

委託事業名	学 校 名 等	期 間
市人権教育推進校園指定事業	海蔵小、神前小、高花平小、常磐小、羽津北小、日永小、八郷小、三重平中、桜中、三滝中、下野幼、神前幼	1 年
子ども人権文化創造事業・自己実現支援事業	市内4地区	1 年
市中学校ブロック人権文化創造事業	22中学校ブロック	1 年
〔県委託事業〕 子ども支援ネットワーク構築事業	三重平中学校区	1 年
〔県補助事業〕 地域による学力向上支援事業	西笹川中学校区	1 年

● 人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・電話番号	建設年月日	構造	敷地面積 m ²	建物延べ m ²	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 TEL351-7609	S50.11.7 増築 H15.2.24	RC造 2F	697.52	250.50	1階 事務所、料理実習室、談話室 2階 ホール、図書室
赤堀児童 集会所		S52.3.31 増築 H60.3.29	RC造 2F			558.00
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 TEL346-2803	S48.9.30 増築 H15.3.14	RC造 2F	864.00	253.26	1階 事務所、料理実習室、和室 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31 増築 H3.3.31	S造 平屋			258.17
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 TEL339-0909	S48.3.15	RC造 2F	1,650.00	301.00	1階 事務所、相談室、料理実習室 2階 ホール、図書室
小牧児童 集会所		TEL339-1287	S50.3.31			S造 平屋
人権プラザ 神前	寺方町2281 TEL326-0840	S50.4.30	RC造 2F	756.58	309.18	1階 事務所、料理実習室、相談室、談話室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町2251 TEL326-5022	S52.8.31 増築 S60.3.30	S造 平屋	1,799.79	486.84	ホール、学習室、図書室、幼児室、図工室、職員室

神前 柔道教室	曾井町494-3 TEL326-4236	S52.5.25	S造 平屋	713.14	204.39	柔道場、相撲場
------------	-------------------------	----------	----------	--------	--------	---------

教育・視聴覚センター

● 施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館 6, 7, 8F 日永東一丁目2-28 適応指導教室（ふれあい教室）
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 適応指導教室

● 業務内容（平成26年度）

事業名	内容
研究	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課員による課題研究の推進 ○ 教育図書、研究資料の整備、提供 ○ 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の企画・運営 （教職員研修講座の企画・運営、教師力向上サポートブックによる自己相互研鑽の推進、若手教員・ミドルリーダー教員研修の推進 等） ○ 乳幼児教育研修の企画・運営 ○ 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
各種連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三泗発表振興会（児童・生徒の発表に関する事務・調整等） ○ 四日市こども科学セミナーの企画・運営 ○ 企業連携・大学連携事業の実施（連絡・調整等）
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校や発達・行動等に課題のある子どもと、その保護者・教職員に対する相談支援（来所相談、学校・園への巡回相談（就学相談を含む）、電話相談、他の相談機関との連携調整） ○ 「わくわく教室」「ふれあい教室」での、不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 ○ 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 ○ 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 ○ 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 ○ 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープ、プロジェクターなどの貸出し

